

受賞団体 活動紹介



社会福祉法人 **阪南市社会福祉協議会**【大阪府】

**あなたも私も笑顔になる
~子ども福祉委員~**

選考理由

子どもが主体的に計画・行動し、地域の高齢者一人ひとりの声に耳を傾けてお手伝いしています。「子ども福祉委員」の発想はユニークで、無理なく助けあう気持ちがほほえましく、他地域への波及も期待できます。

活動の概要と目的

感謝と笑顔が循環する支え合いの仕組みで地域を豊かに

「子ども福祉委員」は、阪南市の小・中学生が自主的に地域の課題解決に取り組むボランティア組織です。住民懇談会で出された「子どもたちを地域の担い手に」と願う校区福祉委員*の声を受け、社会福祉協議会が2017年に組織を創設。子どもの自主性を尊重する形で支援しています。

子どもたちは、地域に必要な活動を話し合い、手作りのチラシで高齢者の困りごとを募るなど、地域における課題の発見・解決に向けて積極的に取り組んでいます。月に1~2回実施する活動は、高齢者宅の電球交換や庭の手入れ、買い物の付き添いなどのほか、地域の掃除イベントの企画や保育所・福祉施設の手伝いなど多岐にわたります。

子どもたちは、活動に対する感謝の言葉や笑顔に、喜びと自信を得て日々成長しています。周囲の大人も刺激を受けて活動に参加するなど、地域全体に波及効果が生まれています。

*小学校区において、住民の立場で子どもや高齢者等を支える福祉活動を行うボランティア。

子どもたちの変化・成長

困りごと解決を通して地域の課題に気づき、貢献できた達成感に自信をつけています。「人見知りを克服できた」「コミュニケーション力が発達した」と自身の成長を自覚し、地域や学校の活動にも積極性が出ています。



1人で暮らす高齢者の「もう一度自分で買い物したい」夢をかえ、子どもたちが買い物に付き添う様子です。会話するうちに自然に笑顔が広がります。



年末に向けて、高齢者夫婦宅の網戸掃除をお手伝い。2人で協力し、次第に要領をつかんで洗い進めました。終了後には、お菓子をいただきながらお話も。

参加者の声

暑かったりしんどかったりしても最後までやれたし、いろんな人を笑顔にできてよかったです。(小学校高学年)

人の役に立ちたくて、入りました。人前に立つのが苦手だったけど、積極的になり、知り合いも増えてよかったです。(中学生)

訪問では、ありがとうと言ってもらい、お礼を言われるってとっても気分のいいことだなと思いました。(中学生)

網戸がきれいになり、親御さんに感謝状を渡したくらい。話し、ピアノを聞かせてもらい楽しい時間でした。(依頼した高齢者ご夫婦)

姉の影響で私も入りたいと思い、友達を誘って参加しました。以前よりも家でお手伝いをするようになりました。(中学生)



お年寄りと交流して思ったのは、めちゃくちゃ楽しい!!ってことでした。(中学生)

今後の課題と未来の方向性

依頼する高齢者の遠慮や気遣いをうまく取り除いて要望を聞き出したり、子どもたちと同行者の日程調整を、件数や人数が増えても円滑に処理できるようにすることが課題です。また、中学校卒業後も継続してボランティアや地域活動に関わり続けられる受け皿づくりを進めていきたいと考えています。

活動の特長

「子どもたちに地域の担い手になってほしい」

住民懇談会での校区福祉委員の言葉をきっかけに、「子ども福祉委員」の組織が誕生。阪南市では、他人の困りごと『我が事』として受けとめ、分野や“縦割り”を超えてさまざまな人たちが『丸ごと』つながり活躍できる地域づくりを進めており、担い手づくりの目玉事業として2017年に活動を開始。1中学校12人で始まった活動は、2019年には3中学校1小学校におよび、延べ78人が参加する活動に成長しました。

地域の課題を自ら探し、対応策を話し合い、解決する

まち歩きやアンケートで地域の課題を実感し、「力になりたい」と企画立案して自ら動く子どもたち。その自主性を大切に「絶対に大人の考えや行動を押し付けない」ように注意しながら、こころの成長をサポートしています。子どもたちの手で宣言文を作成した「子どもボランティアサミット」は、2019年に2回目を迎えました。年に一度の各校による発表や課題を話し合う交流会が、子どもたちのやる気の持続につながっています。

地域の未来を支える“感謝と笑顔”循環の仕組み

子どもたちと高齢者が「困りごとの解決」を通して感謝と笑顔でこころを通わせ、まち歩きでまちを知っていることが、災害時に生かされました。2018年、台風被害にあった地域の人々を支える活動に、普段の見守りやつながりが生かされたのです。「子どもの頃のボランティア経験」が、こころに地域貢献のタネをまき、“感謝と笑顔”を栄養として地域の未来に花を咲かせる、素敵なお支え合いの仕組みとなっています。



定期的な地域清掃イベント“CMC(クリーンマイシティ)”を立案し、実施しています。水色のユニフォーム姿が印象的!



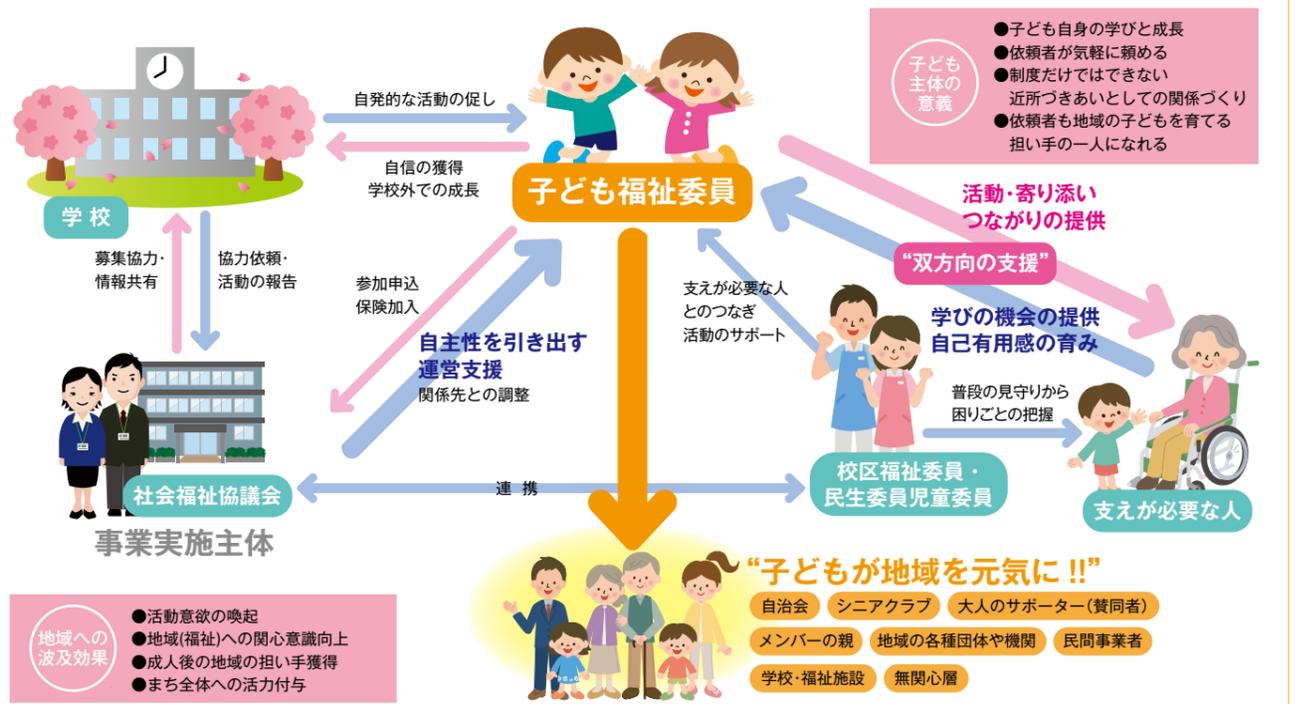
ミーティングでは、どんなことをやりたいか話し合います。困りごと調査のアンケートやチラシも自分たちで作っています。



台風で被災した1人暮らしの高齢者宅を訪問。「困りごと手伝います」と声をかけ、チラシを手渡しました。

活動の広がり

社会福祉協議会の職員・校区福祉委員・民生委員児童委員は、子ども福祉委員が無理なく自主的に活動を継続するために必要な依頼の調整や下見、活動の同行などを行なっています。3中学校、1小学校の有志によるボランティア活動は、地域の担い手の育成になるだけでなく、周囲の人も刺激を受けて参加するなど、地域全体に活力を与えています。



所在地:〒599-0201 大阪府阪南市尾崎町1-18-15 ●TEL:072-472-3333
E-mail: h-shakyo@sb3.so-net.ne.jp ●HP: https://www.hannanshi-shakyo.jp/
代表者: 築野 由照(会長) ●担当者: 猪俣 健一(事務局次長)